

各社カートリッジのダンピングファクター調整例

カ ー ト リ ッ ジ	ダンピングファクター目盛	
	ストレートパイプ	S字パイプ
バイオニア PC-70MC	2~4	1~3
	50MC	2~4
	1000/II	2~4
シュアー V-15/IV	2~4	1~3
A D C XLM/MKIII Improved	2~4	1~3
エンバイア 40000III/LAC	2~4	1~3
オルトフォン	MC-20 MKII	3~5
	VMS-20EMKII	3~5
	MC-20	3~5
デンオン	DL-103	3~5
	DL-305	2~4
A T	AT-33E	2~4
	AT-150EG	2~4
テクニクス U205CIII	2~4	1~3
ヤマハ	MC-7	2~4
	MC-5	2~4
ビクター MC-101E	2~4	1~3
F R FR-7f	—	2~4

ご注意

ダンピングファクターは、ダンピングツマミの数値が大きくなるほど制動量が増加します。

演奏中はダンピングファクターを調整しないでください。

針飛びを起し、レコード盤や針先を傷めることがあります。調整するときは、トーンアームを一度アームレストまで戻してからダンピングツマミを回してください。

トーンアームパイプの選択について

本機は、インテグレートッド型のストレートパイプとユニバーサル型のS字パイプを付属しています。選択については、次の事項を参考にしてください。

ストレートパイプ：

インテグレートッドパイプです。ムービングマグネット型(MM)やムービングコイル型(MC)などのほとんどのカートリッジと、幅広く対応できるように設計してあります。通常はこのパイプを取付けてお使いになることをおすすめします。

S字パイプ：

ヘッドシエルの交換が容易に行えるユニバーサルタイプのパイプです。カートリッジをヘッドシエルごと簡単に取替えられますのでお手持ちのヘッドシエルなどをお使いになる場合や、各種カートリッジの音質の比較をするときにお使いになると便利です。

別売パーツJP-515について

本機を効果的にお使いになれる方のために、バイオニアではJP-515(ストレートパイプ)を用意しています。プレーヤーに付属されているストレートパイプと同じものです。お買い求めになると各種カートリッジをこのパイプに取り付けておいてストレートパイプごと交換して使うことができ、大変便利です。